

事業概要【むしろこれから 鹿島・太良プロジェクト

～唯一無二の地域資源とローカル鉄道を活用した有明海沿線広域連携スローツーリズム推進～】

申請者	佐賀県ほか2自治体※					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	3,514,443千円 (158,985千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・有明海沿線の鹿島・太良エリアを一体的にブランディングし、本物の地域資源をゆっくり、じっくり味わう“スローツーリズム”を楽しめる、鹿島太良らしい、唯一無二のエリアづくりを行う。 ・肥前鹿島駅エリアは、スローツーリズムのフロントとして整備。駅舎内には「えきやど（宿）」の機能を設ける。駅を拠点に、地元の人が普段使いしている飲食店や商店、有明海の全景を巡るローカル鉄道を楽しむ“新たな旅のかたち”を提供することで、地域の価値を向上させ、新たな人の流れの創出や関係人口の拡大を図る。						
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○鹿島・太良スローツーリズム ブランディング費用38,736千円 ・広域観光戦略策定、地域プロデューサー育成 など ○肥前鹿島駅エリア全体プロデュース費用 27,140千円 ・新駅舎ブランド戦略・商品開発、稼働運営体制構築など 【ハード事業経費】 ○肥前鹿島駅えきやど駅舎（新駅舎）整備費用64,433千円 ○沿線えきやど基盤整備 13,200千円						
地域の多様な主体の参画	・プロジェクトの拠点として、鹿島市内に現地オフィス“K A T A ラボ”を開設。申請自治体の職員が常駐し、地域のプレイヤーと連携し、地域資源の磨き上げを進めている。 ・肥前鹿島駅舎のえきやど（宿）等は民間事業者グループが運営。民間のアイデアや経営視点により地域資源の高付加価値化と安定的な経営を図る					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①鹿島・太良エリアの観光入込客数（+1,200千人） ②鹿島市の観光入込者数/鹿島市の鉄道利用者（0.1%増） ③沿線えきやどの宿泊者数（+1,110人） ④肥前鹿島駅の飲食・物販ゾーンの売上額（+3.3億円） ⑤肥前鹿島駅前まちなかエリアへの新規出店数、新規イベントの開催回数（+16回） ⑥特産品や旅行商品、イベント（体験ツアー、鉄道ツアー、地域イベントなど）の新規開発（28件）

※佐賀県、鹿島市、太良町の広域連携事業

事業概要【チームかしたら ローカルSDGs推進事業】

旧制度（推進）

申請者	佐賀県鹿島市、佐賀県太良町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	52,864千円（18,764千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・ローカルSDGsを推進するため、「チームかしたら リビングラボ」を開設し、官民連携したまちづくりを行う。 ・デジタルを活用した第一次産業の収入増とレジリエンス向上のための事業		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ローカルSDGsを推進する「チームかしたら リビングラボ」の中で、地元で活躍する企業や団体、教育機関や地元住民が協働・共創しながら新しいビジネスモデルやマーケットを創出し、地域経済および観光経済を活性化させる。取組は大手出版社が都市圏へ情報発信し、外部からの人材や資金の流入を目指す。 【主な経費】 ○チームかしたら リビングラボ事業【6,200千円】 ・ 交流人口増加のため事業 4,200千円（スローツーリズム・駅のイベント） ○第一次産業の収入増とレジリエンス向上のための事業 (1)多良岳と有明海での環境教室【4,000千円】 (2)第一次産業発展のための事業【8,564千円】 ・多良岳への広葉樹植樹事業 2,900千円 ・Jクレジット認証・創出事業 3,664千円 ・観光と第一次産業従事者を呼び込むための事業（旅人とのマッチング） 1,000千円 補助金 100千円×10件 ※経費内訳はR7年度事業費		
KPI	①チームかしたらリビングラボから生まれたローカルSDGs事業（+12事業） ②肥前鹿島干潟SDGs推進パートナーの企業数（+15社） ③新事業における新規雇用者数（延べ）（+3人） ④太良町有林クレジットの販売の収支（+4,200千円）	関連URL	https://www.city.saga-kashima.lg.jp/

事業概要【鹿島市シビックプライド醸成事業】

旧制度（推進）

申請者	佐賀県鹿島市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	21,480千円（6,390千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	- 市制施行70周年の節目を契機にシビックプライドを醸成する取組を推進する。この取り組みにより鹿島に対する誇りと鹿島に住む一住民として地域の発展に関与する意識を向上させる。 - 若い女性を中心とした「リビングラボ」の中で、鹿島市の特長・魅力を訴求、情報発信。 - 連携協定を締結している報道機関（出版社・新聞社）とともにデジタルを始めとしたさまざまな媒体を使った効果的な情報発信を行い、都市圏へ情報発信することで、鹿島出身者の関心をひき、ふるさと納税の増加による資金の流入を目指す。		
事業概要・ 主な経費	シビックプライドの醸成 シティブロモーション展開 関係人口増加 移住・定住へ 鹿島市の良さを実感する 鹿島市に関わりのある人 市 関わりのない人 発信 インナープロモーション 発信 アウトタープロモーション 良さを伝えたい 教えたい 関わりたい 行ってみたい 帰りたい ○シビックプライド向上のための事業【3,200千円】 1年目の事業を受けて、シビックプライドの醸成からシティブロモーションにつながる事業を展開する。 - シティブロモーション動画作成委託料（4～9月分）2,500千円 - 市長プロモーション旅費（東京ほか）700千円 ○シビックプライド向上のための支援【3,190千円】 昨年度行ったシビックプライドの醸成からの戦略的シティブロモーションの方向性を決める。 - 戦略的シティブロモーションの実施にかかる委託料 リビングラボ・市民向けワークショップの実施・意見集約・提案 2,660千円 - デジタルサイネージ購入費 530千円		
KPI	① 地域へのUIターン数（+20人） ② 自慢できる魅力がある市民の割合（+15%） ③ 中高生の高校・大学卒業後に何年か市外に住んだあと鹿島市に住みたい人の割合（+22%） ④ 鹿島市の認知度（+42%）		
※カコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	https://www.city.saga-kashima.lg.jp/	